

# 刑法犯十四年連続の減少

昨年の刑法犯認知件数は、一万二、二〇一件で、前年比九〇四件、六・九%減少で十四年連続減少し、戦後最少となりました。振り込め詐欺などの特殊詐欺は前年比四一件減の二二二件で、その内、振り込め詐欺は二〇九件で、被害金額計は約三億七、一四〇万円となりました。

また、発生件数の絶対数が多い自転車盗は前年比六七件減少の一、七八六件、万引きは前年比三一一件減少の一、六二二件となりました。これら犯罪総数の減少は、警察が取り組んできた犯罪抑止対策の強化はもとより、県民の自主防犯活動や防犯ボランティア団体等の地道な活動がこの大きな成果につながったものと思います。

今年も自転車の盗難被害を減少させるため、当協会の自転車防犯協力会を中心に「いつでもどこでもツーロック」運動（わずかな時間でも鍵をかける習慣づけ）を更に推進し、県、警察と協力し、自転車盗防止活動を推進してまいります。

# 活動だより

## \*防犯協会女性部三県合同研修会

(十一月八日)

茨城・栃木・群馬三県の防犯協会女性部の合同研修会が茨城県大洗町において開催されました。

研修会には、当協会の横手女性部長以下十四名が参加しました。各県専務理事・女性部長のあいさつの後、各県女性部による発表が行われました。当県からは、空師副部長が、ふれあいコンサートや県内の安全安心イベント、幼稚園児への防犯指導及び振り込め詐欺根絶サポーター養成講座の受講等の状況を発表しました。また、栃木県は、特殊詐欺被害防止の寸劇や痴漢撲滅広報等の活動について発表し、茨城県は、活動報告に続き、「いかのおすし」の人形劇を披露した後、参加者全員でバルーンアートを体験しました。各県の参加者たちとも楽しい雰囲気の中で有意義な研修会となりました。



人形劇の状況



研修会の状況



バルーンアート体験